

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4675300240
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	グループホーム なでしこ
訪問調査日	平成20年8月18日
評価確定日	平成20年10月6日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4675300240
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	グループホーム なでしこ
所在地	始良郡始良町東餅田428-1 (電話) 0995-67-7230

評価機関名	特定非営利活動法人 NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48-13		
訪問調査日	平成20年8月18日	評価確定日	平成20年10月6日

【情報提供票より】(20年7月 15日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15 年 10 月 16 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10 人 常勤 8人, 非常勤 2 人, 常勤換算 8.4 人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り 1 階建ての 1 階 ~ 階部分
------	---------------------------------

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	5,100 円	
敷金	有( ) 円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1050 円		

## (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	5 名	要支援2			
年齢	平均 84.8 歳	最低	76 歳	最高	94 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	山下わたる内科、青雲病院、宇都歯科
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは市街地バイパス道路を少し入った新興住宅地にあり、良く整備された広い芝生の洋風庭園に囲まれたなかに医療機関と併設されている。全ての居室が日当たり、開放感ともに恵まれたなかで、医療連携の充実した個別支援をうけながら利用者は穏やかな日々を過ごしている。また地域との関係も良く取れておりホームの行事などには家族とともに協力し参加してもらおう体制ができています。職員は介護のあり方を常に話し合いながら研鑽しており、運営者、管理者とも一体感のある質の良いケアがなされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	前は外部評価の指摘はもらっていないが、当ホームは月、1回の職員会議が充実して、職員全員出席のもと、議題に沿って管理者、職員が活発に意見を出し合い、問題意識をもって検討され、常に改善、改善の積み重ねを日々のケア向上に活かしている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	自己評価は職員全員で行っている。職員会議の中で改善課題について話し合い、サービスのレベルアップにつなげている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	子どもとのふれあい、地域のお母さん方とのふれあいなどは相乗効果があるという意見ももらい、今回、夏休みに自治会の小学生、お母さん方との交流が行われた。ホームの年間計画と自治会行事計画を確認し、交流を密にすることを話し合いや認知症についての講演等内容の濃い会議になっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	家族などの来訪時に意見や要望を聴いている。運営推進会議や市町村窓口などでも意見、苦情を受け付けていることも十分説明している。利用者、家族の意見や要望は職員会議で話し合い、運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	運営推進会議を通じ、地域との交流は深まっている。自治会の運動会、夏祭りに参加している。また、病院、ホームの夏祭りにも地域の大勢の参加があり、利用者の作品展示やバザーを楽しんでもらっている。来年度は中学生の職場体験を受け入れる予定を立てている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての事業所独自の理念をつくりあげている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、リビング、職員室に理念を掲げてある。毎日の申し送りや職員会議の中で理念を伝え、共有し、日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	年間行事計画を作成し、自治会の運動会、地域の祭りに参加している。庭園で行われる夏祭りには利用者の作品展示、バザー提供など、交流が来ている。今回は夏休み、自治会の子ども会との交流もでき、事業所と地域の人々が支えあう関係ができています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の意義を理解し、自己評価は全員で取り組んでいる。職員会議では評価をもとに日々のケアのふりかえりの話し合いをもち、改善にとりくんでいる。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、利用者家族、民生委員、自治会長、苦情相談員、地域包括センター職員など、多くの参加のもと、3か月に1回、開催されている。活動報告、評価の結果報告、地域との交流の仕方など意見、助言をもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村にホームの実情、サービスの取り組み、疑問点など報告、相談したり、役場職員の訪問をもらったりして連携をとっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時にはホームでの様子、健康状態を報告している。また、手紙や電話、ホーム便り等で日頃の暮らしぶり、健康状態、ホームでの行事写真を送付している。金銭管理は出納帳により管理し、毎月書面にて報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時や行事参加の際、近況を報告し、意見や要望を聴いている。意見や要望などは会議で話し合い、運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	なじみの職員が継続的に支える体制になるよう、対応できている。職員交代時は引継ぎの期間を十分にとってスムーズに移行できるように配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画の中で研修の機会を位置づけ、研修会への参加や資格取得に向けた体制ができている。全職員が交替で参加し、研修会の報告をし、全職員が共有できている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区グループホームの研修会に参加し、知り合った同業者や、同一法人内グループホームとの相互訪問などの活動を通して得た意見、取り組み等をケアに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、利用者家族に数回ホームにきてもらい、信頼関係を築いてからサービス利用を開始している。やむを得ず急に利用開始になった場合は家族の協力をもらい、安心して生活できるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの生活暦や希望、意向の把握をし、昔の習わし、畑仕事、しめ縄作り、日常の家事の中で教わったり、励まされたり支えあう関係を築いている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中での表情、しぐさや家族の情報などから利用者の思い、希望の把握に努めている。個性性を重要視した関わりが出来ている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員でアセスメント、モニタリングを行い、利用者、家族の意見、要望を反映させた個性のある介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的3ヵ月ごとの見直しをしている。状態変化に応じて話し合い、随時見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者(数名は透析患者)の状態に応じて緊急時、24時間体制で対応、支援している。通院の送迎も行うが、一日一回の看護師の訪問も受け利用者本位の柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医に受診している。家族と協力して通院介助や訪問診療を支援している。受診結果は家族にも報告している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する対応指針を定め、関係者全員の統一を図っている。家族、医師、看護師を交え、話し合いを行い、家族の思いや変化に注意を払った支援がなされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応について職員同士注意し合える関係づくりができています。個人情報保護法の勉強会をもち、理解できています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には一日の流れがあるが一人ひとりの体調、気分配慮しながら利用者の希望に沿った支援を心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	腎患者の利用者がいることもあって栄養士の指示に従うメニューが中心となっている。リクエストや旬のものを取り入れた献立を作り、利用者下ごしらえや調理と一緒に、職員も同じテーブルを囲み、会話を楽しみながら見守りの食事風景である。利用者の状態に合わせたミキサー食、刻み食にも対応できている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週、3回の入浴日が決められているが利用者の希望や身体状況に合わせて、柔軟に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は食事の下ごしらえ、洗濯物干し、畑仕事などできる事で力を発揮し、日々を楽しく過ごしている。巡回図書を楽しんでいる利用者もいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	広い庭園内の散歩や東屋でのお茶や昼食を楽しむこともある。買い物や自宅訪問など日常的に支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りを徹底し、一人ひとりの状態を把握して、鍵をかけずに自由な暮らしができるよう支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、関係者の協力のもと、利用者個々の個別訓練(夜間想定)を実施している。災害に備えた備品、備蓄もある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	腎疾患の利用者がいる関係上、管理栄養士によるカロリー計算の徹底した献立である。食事摂取量や水分量は個別記録に記し、一人ひとりの状態に応じた把握がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然の光が入り、明るい広々とした居間からは花壇や野菜畑が見え、緑の芝生が美しく、ソファーに座り外を眺めながらゆったりと穏やかな気持ちで過ごせる環境に工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の写真や家族の写真お位牌などなじみのもの、使い慣れたものが置いてあり、それぞれの個性が見られる清潔な居室である。寝具は週1回必ず交換される。		